

市制施行六十周年記念

収蔵品展

受け継がれてきた吹田の文化財



10月21日(土) - 12月3日(日)

◆開館時間／午前9時30分～午後5時

◆休館日／月曜日、11月24日

◆観覧料／大人200円(160円)

高校・大学生100円(80円)

小・中学生50円(40円)

第2・4土曜日は市内小・中学生は無料 (一)内は20名以上の団体割引料金

吹田市立博物館

大阪府吹田市岸部北四丁目十番二号 電話06(63338)5500

◆講演会／11月5日(日)午後2時 当館講座室

「大坂画壇と吹田—文人画家金子雪操をめぐって—」
大阪芸術大学教授 田中敏雄氏

◆展示解説／11月25日(土)午後2時 当館特別展示室

市制施行六十周年記念

収蔵品展

受け継がれてきた吹田の文化財

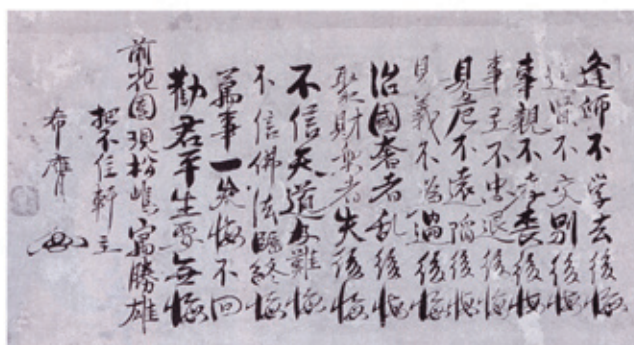
平成四年十一月に開館した吹田市立博物館は、今年で開館八周年を迎えます。当館では、これまで資料収集や保存修理など博物館資料の充実と保存につとめてきました。

今回の展示は、現在までに博物館に収蔵されてきた資料を紹介するものです。数多くの資料のなかから、仏像・仏画・書跡・近世絵画・武具・古文書など、市内の寺院や旧家などから寄贈・寄託された美術作品を中心に展示をします。これらの作品は、長年にわたって大切に受け継がれてきた吹田の文化財であり、吹田の文化や美術を語る上で貴重なものといえます。なかでも江戸時代前期の臨済宗の禅僧雲居希膺の書跡や賛文のある絵画、江戸時代後期に活躍した文人画家金子雪操の絵画は、質量ともに充実したコレクションを形成しており、吹田との深いゆかりを物語っています。

この展示で吹田に伝えられてきた文化財をご鑑賞いただき、地域文化への関心を深めていただければ幸いです。



玉堂富貴図(金子雪操筆)



法語 達師不学云々(雲居希膺筆)



鉄鎧地六十二間小星兜



交通案内

- JR吹田駅・阪急千里線吹田駅から
桃山台駅前・山田櫻切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
阪急山田・千里中央ゆきバス「岸部」下車徒歩10分
- 阪急千里線南千里駅から
JR吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」下車徒歩10分
- JR東海道本線岸辺駅下車徒歩25分
- 車でのご来館は、佐井寺北・五月が丘方面からお願いします。